

テーマ：『 積極的に自然に関わり、生き生きと学ぶ生活科・理科学習をめざして 』

福岡市立 大池小学校

Tel. 092-561-1016 担当者 富永 和利



#### 実践内容:

子どもが積極的に自然に関わり生き生きと学ぶために、子どもの実態と既存の考えが生かされた単元構成の工夫を行った。まず、単元の初めに、学習に必要な共通体験を行ったり知識や技能の補充を行うための「オリエンテーション」を行った。科学的な見方考え方を育てるため、生活科では「問題解決的な学習」、理科では、「問題解決学習」を行った。理科では、何のために観察・実験を行っているのかという目的意識をはっきりさせるため、山口大学教授池田幸夫先生の「理論依存型(きまりを教えて考えさせる学習)」、「理論追求型(従来の問題解決学習)」の考えをもとに授業スタイルの工夫を行った。さらに、生活科・理科では、教材教具が大きな役割を果たすことから、使用する教材教具の基礎データの収集分析を行い、学年の発達段階に応じた教材教具の開発を行った。科学夢空間プロジェクトにおいて、校内の壁面に「水の循環を表す壁画」の作成を行った。

#### 実践成果:

オリエンテーションによる共通体験・知識技能の復習を行ったことで、スムーズに単元学習に入ることができた。

「理論依存型」授業で、きまりを使って観察実験することで、子どもが意欲的に活動し、自然についての認識を広げる姿が見られた。

各学年のねらいを明らかにし、教材教具の基礎研究・効果的な位置づけを行った結果、教師の教材に対する人しかが深まり、子どもが積極的に自然に関わる姿が見られた。生活科で、何度も挑戦し繰り返し関わることができる教材を使用したことで、「できた喜び」を味わわせることができた。

#### 実践ポイント:

本校では、山口大学教授池田幸夫先生の「理論依存型」「理論追求型」の考えをもとに、理科学習指導法の研究に取り組み、3年生の「昆虫の体のつくり」や4年生の「水の100 の沸騰」など、観察・実験を行い、大池小学校独自の「理論依存型」「理論追求型」の授業づくりを進めた。